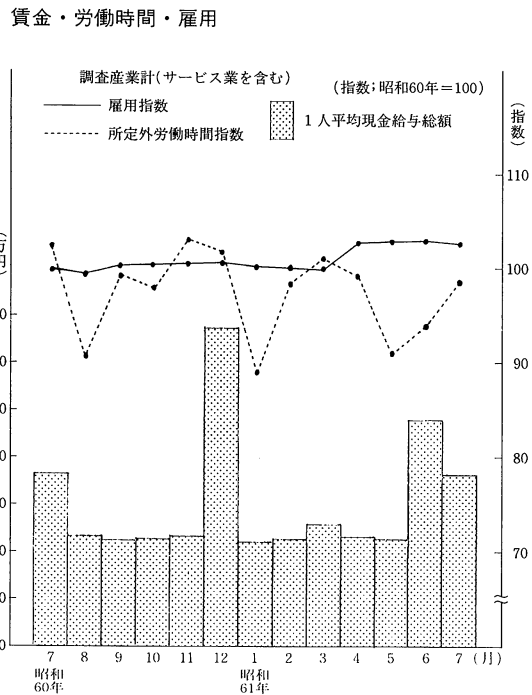
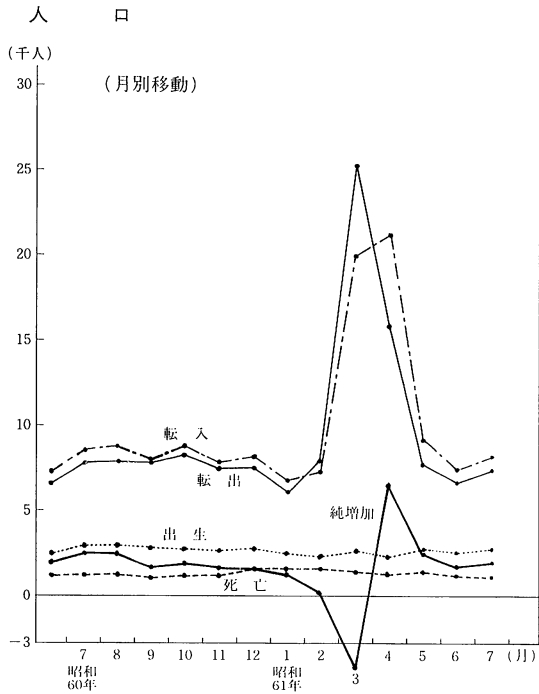
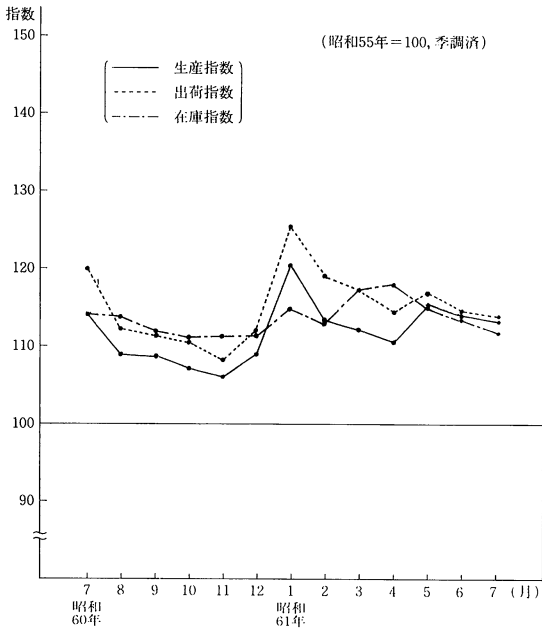


# ●今月の主な動き

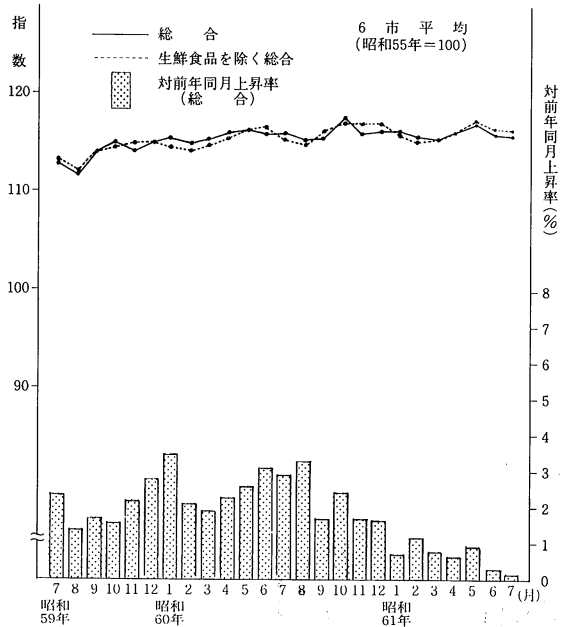
## 今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



## 主な動きのあらまし……………企画部統計課

### ■人口(8月1日)

本県の人口は、7月中に2,164人増加し、8月1日現在で2,741,495人(男1,366,342人、女1,375,153人)となった。

内訳は、自然動態で1,590人(出生2,929人、死亡1,339人)、社会動態で574人(転入8,171人、転出7,597人)、それぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市50町村、減少が5市20町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても、660世帯増加して、768,217世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用(7月)

#### 1. 平均賃金の推移

7月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は360,158円で前月に比べ25.0%減(前年同月比1.2%減)であった。

このうちきまって支給する給与は233,796円で前月に比べ0.2%減(前年同月比1.4%増)であり、特別に支払われた給与は126,362円で前年同月に比べ7,569円減であった。

#### 2. 労働時間

総実労働時間数は181.0時間で、前月に比べ2.6%減(前年同月比2.8%減)であった。

このうち所定内労働時間数は163.2時間で、前月に比べ3.2%減(前年同月比2.6%減)であり、所定外労働時間数は17.8時間で、前月に比べ4.0%増(前年同月比4.8%減)であった。

#### 3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると、102.9で、増減率は前月に比べ0.3%減、前年同月に比べ2.9%増であった。

### ■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(7月)

本県における昭和61年7月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が113.3、出荷が114.1、在庫が111.6で前月比は、生産が0.7%の低下、出荷が0.5%の低下、在庫が1.7%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が0.8%の低下、出荷が4.7%の低下、在庫が2.3%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、化学工業、一般機械工業、鉱業等が上昇し、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。出荷では鉱業、食料品・

たばこ工業、化学工業等が上昇し、非鉄金属工業、窯業・土石製品工業等が低下した。在庫では、食料品・たばこ工業、繊維工業、化学工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財、建設財等が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。出荷では、耐久消費財、非耐久消費財等が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、資本財が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

### ■消費者物価指数(7月)

昭和61年7月の茨城県消費者物価指数は、総合で116.5(昭和55年=100)となり、前月比△0.3%の下落、前年同月比0.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海草3.5%、魚介類0.9%、医薬品0.8%、油脂・調味料0.7%、交通0.6%  
 今月下がった主な項目……果物△11.3%、他の光熱△4.4%、教養娯楽耐久財△2.8%、シャツ・下着△1.6%、自動車等関係費△1.1%、身の回り用品△1.1%  
 生鮮食品を除く総合は117.2となり、前月比△0.3%の下落、前年同月比0.9%の上昇となった。

#### 費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	116.5	△0.3	0.1	保健医療	118.6	0.2	1.5
食 料	114.8	△0.2	△1.5	交通通信	109.3	△0.3	△2.0
住 居	121.5	△0.1	3.2	教 育	146.0	0.0	4.1
光熱・水道	101.6	△1.2	△6.2	教養娯楽	118.1	△0.7	0.9
家具・家事用品	110.2	△0.2	△0.2	諸 雑 費	118.5	△0.3	3.7
被服及び履物	123.7	△0.6	4.7	生鮮食品を除く総合	117.2	△0.3	0.9